

国際協力型がん臨床指導者養成プログラム

専門科目(必修科目)(国際協力型がん臨床指導者養成プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02ET051	がんの基盤的知識	1	2.0	1・2	通年	応談		野口 雅之, 加藤 光保, 渋谷 彰, 鈴木 裕之, 南 学, 柴武二, 大越 靖	腫瘍病理学、分子生物学など腫瘍学について基礎的、社会的な観点で講義を行い、腫瘍の成り立ちからその社会に与える影響までの基盤的知識をeラーニング講義で体系的に習得する。	
02ET052	総論:臨床腫瘍学	1	1.0	1・2	通年	応談		兵頭 一之介, 正田 純一, 鈴木 英雄, 小田 竜也	臨床腫瘍学の全体像を学習する。本プログラムの概要、臨床腫瘍医に必須の幅広い知識をeラーニング講義で習得する。	
02ET053	各論:臨床腫瘍学	1	1.0	1・2	通年	応談		大河内 信弘, 千葉 滋, 近藤 匡, 小田 竜也, 森脇 俊和, 石井 良征, 柴田 靖, 和田 哲郎	疫学、診断、ならびに治療法を各々の腫瘍について学習する。特に治療法については万能な治療法がないため、腫瘍の種類、進展状況、患者の状態によって総合的に治療法を組み合わせる集学的治療の意義を理解する。これらの知識をeラーニング講義で習得する。	
02ET054	臨床研究と統計学	1	1.0	1・2	通年	応談		我妻 ゆき子, 橋本 幸一, 岡田 昌史, 大橋 順	臨床試験を進めてゆく上で知っておかなければならない基本的な項目について学習する。倫理審査手順、臨床試験登録、GCP、プロトコール作成項目、同意書、臨床研究デザインや臨床試験のタイプについて概説する。また、よく使用される生物統計学的解析手法についても理解する。これらの知識をeラーニング講義で習得する。	
02ET055	がんと倫理	1	1.0	1・2	通年	応談		小田 竜也	ライフサイエンスの発展に伴って生じうる人の尊厳や人権に関わる生命倫理上の問題や、遺伝子組換え技術等に係る安全性の問題について理解する。また、それらに適切に対応する為に、生命倫理や遺伝子組換え技術等に関する指針やそれに関する法令について学習する。これらの知識をeラーニング講義で習得する。	
02ET056	精神腫瘍学・社会腫瘍学	1	1.0	1・2	通年	応談		朝田 隆, 根本 清貴	「がんが心に与える影響と、その治療法」及び「心ががんに与える影響」を学習する。また、がん医療人としてがん患者、家族と能動的に接する「患者教育」について学習する。これらの知識をeラーニング講義で習得する。	
02ET057	緩和医療とチーム医療	1	1.0	1・2	通年	応談		朝田 隆, 本間 真人, 水野 道代	緩和医療学と医療従事者お互い対等に連携することで患者中心の医療実現を目指す医療環境モデルについて学習する。これらの知識をeラーニング講義で習得する。	

専門科目(選択科目)(国際協力型がん臨床指導者養成プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02ET073	保健医学物理学講義	1	2.0	1・2	通年	応談		柴武二, 磯辺 智範, 熊田 博明, 安岡 聖	放射線防護の基礎的知識を身に付け、医学物理分野における保健物理学について理解度を深める。一部の講義にeラーニングを利用する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET151	臨床腫瘍学(消化器内科)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		兵頭 一之介, 正田 純一, 安部井 誠人, 松井 裕史, 福田 邦明, 森脇 俊和, 鈴木 英雄	臨床腫瘍学のうち、消化管と肝胆膵領域の悪性腫瘍に対する最新かつ専門的な内科的診断・治療法について習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET152	臨床腫瘍学(消化器外科)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		大河内 信弘, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 近藤 匡, 福永 潔, 榎本 剛史	臨床腫瘍学のうち、消化管(食道、胃、小腸、結腸、直腸)及び肝胆膵の腫瘍に対する外科的アプローチについて学習する。手術切除のメリット、デメリットを勘案した上での手術適応、術式の決定、手術治療、術後管理、術前・後の追加治療を組み合わせた集学的治療の一部としての手術、について包括的に理解する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET153	臨床腫瘍学(呼吸器内科)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		檜澤 伸之, 大塚 盛男, 坂本 透, 佐藤 浩昭	臨床腫瘍学のうち、呼吸器領域の悪性腫瘍、特に肺癌、中皮腫などの特性、診断法、治療法に関して専門的知識を習得する。その基礎となる病態の理解と臨床研究を主体的に遂行可能な能力の獲得および臨床的、基礎的研究手法を習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET154	臨床腫瘍学(呼吸器外科)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		佐藤 幸夫, 鬼塚 正孝, 菊池 慎二, 後藤 行延	臨床腫瘍学のうち、呼吸器外科で扱う領域は主に肺癌と縦隔腫瘍、そして中皮腫がある。これら疾患の手術適応と手術法、術前・術後に行われる補助療法について学習する。また、呼吸機能温存や低侵襲手術の考えた方、胸腔鏡手術についても学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET155	臨床腫瘍学(造血器)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		千葉 滋, 長谷川 雄一, 大越 靖	臨床腫瘍学のうち、造血器腫瘍における概論、白血病・リンパ腫・形質細胞腫瘍各論、造血幹細胞移植について専門的知識を習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02ET156	臨床腫瘍学(婦人科)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		沖 明典, 佐藤 豊実, 松本 光司, 水口 剛雄	臨床腫瘍学のうち、婦人科がん領域の診断、治療、病理、腫瘍生物学などについてがん専門医として必須の知識、技術を習得する。具体的には以下の項目について学ぶ。1. 診断と進行期の決定、2. 病理組織・細胞診断、3. 癌患者の病態生理とその管理、4. 発癌、浸潤と転移、5. 腫瘍生物学、6. 臨床統計と臨床試験、7. 腫瘍免疫学、8. 化学療法、9. 治療薬の薬理学、10. 放射線治療、11. 評価と治療法、12. 手術。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET157	臨床腫瘍学(泌尿器)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		西山 博之, 島居 徹, 河合 弘二	臨床腫瘍学のうち、泌尿器科悪性腫瘍の診断から治療の選択及び実施の全ての過程について学習する。外科的治療のみならず化学療法、内分泌療法、免疫療法の全てについて学ぶとともに骨盤外科医に必須である神経因性膀胱の管理技術を習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET158	臨床腫瘍学(小児)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		須磨崎 亮, 福島 敬, 小林 千恵, 増本 幸二, 新開 統子, 高安 肇	臨床腫瘍学のうち、小児臨床腫瘍学について実用的な知識および技能を修得する。小児腫瘍は頻度が少なく、進行が早い、抗癌剤や放射線治療が奏功することが多く、遠隔転移例も一定の率で救命可能となった。トランスレーショナルリサーチ、臨床試験、治療、および先端の診療実践等の多様な臨床研究が同時におよびシームレスに実施されるなかで、それぞれの臨床的・社会的意義を理解する。多職種によるトータルケア体制を経験し、チームリーダーの役割を知る。国際共同研究を通じて、地球規模の視点を養う。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET159	臨床腫瘍学(脳・神経)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		坪井 康次, 松村 明, 高野 晋吾, 柴田 靖, 山本 哲哉, 中井 啓, 石川 栄一	臨床腫瘍学のうち、原発性脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍に対する集学的治療を通して臨床腫瘍医としての高度臨床能力および研究能力を学習する。特に陽子線療法、BNCT療法、免疫・ワクチン治療、新規抗癌剤(分子標的、抗血管新生薬)などの研究について学ぶ。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET160	臨床腫瘍学(運動器)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		坂根 正孝, 西浦 康正, 三島 初, 金森 章浩	臨床腫瘍学のうち、骨・軟部・神経領域腫瘍の診断学・治療学など最新の知識を習得するとともに転移性骨腫瘍について症候学・画像診断学・治療学についても学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET161	臨床腫瘍学(乳腺・内分泌)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		原 尚人, 坂東 裕子	臨床腫瘍学のうち、乳癌と甲状腺癌を中心に、疫学、診断、術前薬物療法、外科的治療、術後薬物療法、放射線療法、再発治療、終末医療について学ぶ。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET162	臨床腫瘍学(頭頸部)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	水6		原 晃, 和田 哲郎, 大久保 英樹, 田淵 経司	臨床腫瘍学のうち、頭頸部領域としては喉頭癌、口腔癌、上・中・下咽頭癌、鼻副鼻腔癌、唾液腺癌、甲状腺癌等が挙げられる。近接した部位から発生しながら、それぞれ治療法、予後等が異なり、気道、咀嚼、嚥下にも密接に関わる。これら疾患への対応について学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET163	臨床腫瘍学(画像診断)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		南 学, 田中 優美子, 那須 克宏, 森健作	単純写真・造影検査・CT・MRI・US・血管造影・核医学などの画像検査を通じて、種々の悪性腫瘍に対する画像診断の進め方、スクリーニング、病期診断、治療効果判定などを理解するとともに低侵襲性治療(IVR)について学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET173	臨床腫瘍学(病理診断)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		野口 雅之	腫瘍の病理診断について検体の固定から標本作製までの理論と実際について学習する。組織診断や細胞診断の基礎を学んで実際に病理診断業務に携わる。また補助診断としての免疫組織学的診断や遺伝子診断などについてもその基礎的理論を理解し、何例かについては実際に診断を行ってみる。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET165	基礎腫瘍学(放射線腫瘍学)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		櫻井 英幸, 坪井 康次, 榮 武二, 奥村 敏之, 石川 仁, 熊田 博明, 磯辺 智範, 水本 斉志, 安岡 聖	腫瘍学を専門にする医師の中で、主に放射線腫瘍学を専門とするRadiation Oncologist放射線腫瘍医を対象とする。放射線治療の基礎となる放射線生物学、放射線物理学、腫瘍病理学、臨床腫瘍学、放射線診断学、放射線治療技術学について学習する。学生が個々にテーマを持ち、基礎的な生物実験または物理実験に参加し、その結果を論文発表する能力を習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET166	臨床緩和医療学・精神腫瘍学講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		朝田 隆, 前野 哲博	臨床の現場において、病気の進行と共に変化する身体症状、精神症状、スピリチュアルな問題及びそのマネジメントについて学習する。各疾患に特徴的な症状、対応方法を学習する事に加え、患者のサイコソシヤルな問題やスピリチュアルな問題へのチームアプローチについても学習する。加えて、同分野の臨床研究を計画・実施できる能力を涵養する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET167	臨床腫瘍学(皮膚)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		藤本 学, 古田 淳一, 藤澤 康弘, 石井 良征	臨床腫瘍学のうち、皮膚・皮膚疾患の、特に皮膚悪性腫瘍について分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視野から総合的に解析して、その病態を研究するとともに、診断や治療法を学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02ET168	臨床腫瘍学(口腔)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		武川 寛樹, 柳川 徹, 鬼澤 浩司, 山縣 憲司	臨床腫瘍学のうち、舌癌、上・下顎歯肉癌、口底癌、口蓋癌、唾液腺癌、顎骨骨肉腫、悪性黒色腫等、顎・口腔領域に発生する悪性腫瘍について、その特色を学び、診断・治療を学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET170	臨床腫瘍薬学特論講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		本間 真人	臨床的な見地から、抗がん剤をはじめとする薬物の体内動態と薬効及び副作用の解析に関する基礎知識・研究方法を学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET171	基礎腫瘍学(医療開発研究)講義及び実習	5	5.0	1・2	通年	応談		加藤 光保	基礎腫瘍学から早期臨床・トランスレーショナル研究について必要な知識・技術を系統的に学ぶ。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET172	診断医学物理学講義	1	2.0	1・2	通年	応談		榮 武二, 磯辺 智範, 熊田 博明, 安岡 聖	基礎医学を含めた放射線診断に関連する医学物理学分野について、その基礎的な知識を習得する。一部の講義にeラーニングを利用する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象

専門科目(選択必修科目)(国際協力型がん臨床指導者養成プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02ET251	臨床腫瘍学(放射線腫瘍学)講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		櫻井 英幸, 坪井 康次, 榮 武二, 奥村 敏之, 石川 仁, 熊田 博明, 磯辺 智範, 水本 斉志, 安岡 聖	腫瘍学を専門にする医師の中で、主に臨床で放射線腫瘍学を専門とするRadiation Oncologist放射線腫瘍医を対象とする。悪性腫瘍の放射線治療の特性、適応、治療計画、患者管理、有害事象などの知識をeラーニング講義を利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET252	臨床腫瘍学(外科系)講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		大河内 信弘, 松村 明	腫瘍学を専門にする医師の中で、主に手術を専門とするsurgical oncologist=外科系腫瘍専門医を対象とする。外科系がん疾患をeラーニング講義を利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET253	臨床腫瘍学(内科系)講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		兵頭 一之介, 千葉 滋	腫瘍学を専門にする医師の中で、主に抗癌剤による化学療法を専門とするmedical oncologist=腫瘍内科医を対象としており、その領域において必要な内科系がん疾患をeラーニング講義を利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET254	緩和医療・精神腫瘍学講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		前野 哲博	がんの進行と共に変化する症状、精神状態、及びそのマネージメントについて学ぶ。臓器別の疾患に特徴的な症状、対応方法を各論として学習する事に加え、患者の精神的ケア、患者を取り巻く家族、社会への対応も学ぶ。これらの最新知識をeラーニング講義で習得する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET255	基礎腫瘍・がん医療開発講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		加藤 光保	腫瘍学を専門とする医師・研究者の中で、主に基礎腫瘍学、がんの医療開発を専門とする者を対象とし、その領域において必要な最新知識をeラーニング講義を利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET351	基礎医学物理学	1	6.0	1・2	通年	応談		榮 武二, 磯辺 智範, 熊田 博明, 安岡 聖	医学の中で扱う物理学について、医学・物理工学、双方の観点から基礎的な知識を学ぶ。なお、講義ではeラーニングを利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	必修 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET354	治療医学物理学	1	6.0	1・2	通年	応談		榮 武二, 磯辺 智範, 熊田 博明, 安岡 聖	医学物理学分野の中で、特に放射線治療に関連する科目について、その基礎的な知識を習得する。一部の講義にeラーニングを利用する。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET355	医学物理学総合実習	3	4.0	1・2	通年	応談		榮 武二, 磯辺 智範, 熊田 博明, 安岡 聖	学内実習(2単位)および臨床実習(2単位)を行うことにより、医学物理学のより深い理解を目指す。あわせて、臨床現場での実用的な知識と技術を習得し、課題抽出能力を養うことを目的としている。	国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象
02ET451	臨床腫瘍学(薬学系)講義及び実習	5	4.0	1・2	通年	応談		本間 真人	がんを専門とする薬剤師において、必要な薬物療法、の原理や実務手技をeラーニング講義を利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	必修 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム学生のみ対象